

平成30年10月 4 日

産業医科大学、産業医科大学病院および産業医科大学若松病院で、開設から平成33年3月まで、放射線業務従事者として放射線業務に従事された（またはされる）方およびご家族の方へ

産業医科大学アイソトープ研究センターでは、以下の研究を実施しております。この研究は、放射線業務の際に、法令に基づき実施された個人被ばく線量測定記録を利用して実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成26年12月22日制定 平成29年2月28日一部改正）」により、対象となる教職員等の方々お一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の被ばく線量の情報が利用されることを了解されない方は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。なお、利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名 個人が業務上受ける被ばく（職業被ばく）線量の実態調査および推移の解析（後ろ向き研究）
2. 研究期間 平成30年10月 ～ 平成33（2021）年3月
3. 研究機関 産業医科大学
4. 実施責任者 産業医科大学 アイソトープ研究センター
係長（放射線取扱主任者（副）） 阿部 利明
5. 研究の目的と意義

本研究の目的は、放射線や放射性同位元素の取り扱い施設で、個人が業務上受ける被ばく（以下「職業被ばく」という。）の実態を調査し、放射線防護のための基礎となるデータを構築します。また、職業被ばく線量の推移を観察し、増減が認められたら、その原因（使用頻度、被ばく防護、放射性同位元素や放射線発生装置の取扱などの変更等）の調査を行います。職業被ばくの実態の調査は、被ばく低減策の必要の有無などの検証に役立ちます。また、線量の推移の観察は、職業被ばく線量の増加や低減の原因を解明する上で役に立ち、さらに被ばく低減策がとられた場合、その効果を検証するために必要となります。

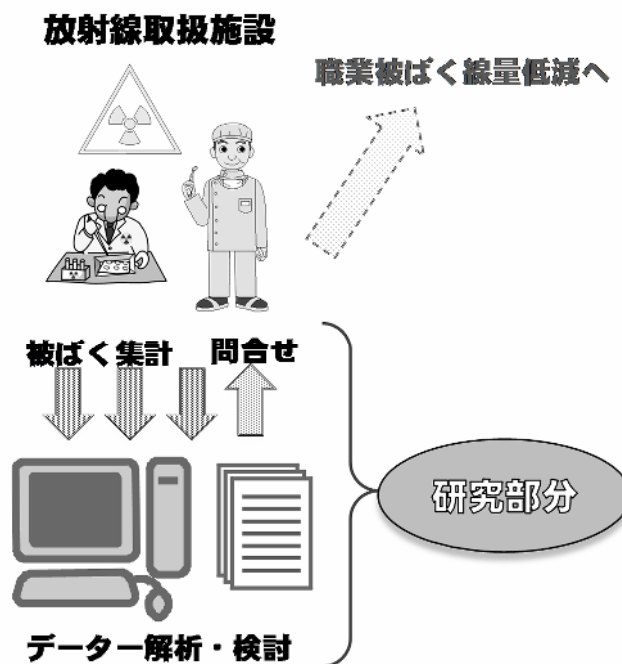
これらの研究は、職業被ばく線量の低減に役立ち、また、現在放射線や放射性同位元素等を産業医科大学、産業医科大学病院および産業医科大学若松病院で取り扱っている皆様には、将来の被ばく線量の低減に直接結びつきます。

6. 研究の方法

開設から平成33年3月までの間に、産業医科大学、産業医科大学病院および産業医科大学若松病院で放射線を利用した業務を行っていた者の被ばく線量のデータを、放射線の利用目的（教育研究、医療）、職種（医師、看護師等）、作業形態（密封RI、非密封RI、診療、治療等）毎に集計します。また、平成30年度からは線量の推移を毎月観察し、データの有意な変化や、その他気が付いた点があれば、より細かい解析を行います。そして、より深い解析が必要と実施責任者が判断した際には、当該部署に使用頻度、被ばく防護等に変更があったかの確認なども行い、線量の推移や傾向等と併せて総合的に被ばく低減策等の効果を検証します。なお、当該部署が回答を拒否しても、何ら不利益を被ることはありません。

本研究は、各部署に介入（業務改善の指示等）するものではありません。

本研究は、被ばく管理が不適切な部署を見つけることが目的ではありません。このため、仮に管理不備が見つかった場合でも、部署名を公表することはありません。



7. 個人情報の取り扱い

個人を特定できる情報は、一切公表しません。また解析等は、原則として監視カメラが設置された鍵のかかる部屋にある、個人被ばく線量管理用のデスクトップパソコン（立ち上げ時のパスワード入力が必要、インターネットに接続されていない。以下「被ばく管理用パソコン」という。）上でのみ行い、外部には持ち出しません。解析の際に作成したファイルはパスワードを設定して同パソコン内に保存します。

解析が被ばく管理用パソコン上では対応できない場合には、被ばく線量のデータを被ばく管理用パソコンから取り出すこともあり得ますが、その際には、対象者を特

定できないように氏名、生年月日などの個人情報を全て削除または匿名化します。匿名化する場合には、研究実施責任者が対象者に番号を付して、必ずパスワードを設定し保存します。また、対象者による開示請求に対応するため、対象者番号と氏名の対応表を作成し、本学アイソトープ研究センター放射線管理室の鍵のかかる保管庫に保管した上で、個人情報を徹底管理し漏洩を防止します。

この研究の実施や得られた成果を学会や論文などに発表する場合には、対象者が特定できないように氏名などの個人情報を全て匿名化したデータのみを用い、個人情報は一切使用しません。

研究対象者又はその代理人が、研究対象者が識別される情報の利用の停止を申し出た場合には、その時点までに得られた情報は匿名化を確認した後に直ちに廃棄します。また、研究終了後5年間保存した後、全てのデータは廃棄します。廃棄する際には研究実施責任者の管理の下、完全に匿名化されたことを確認の後行います。さらに、本学に残された個人を識別するための対応表も、同様の措置を行った後廃棄します。なお、廃棄の対象は、被ばく管理用パソコンから取り出したデータであり、個人の業務上受けた被ばく線量の記録は、法令の規定により廃棄できませんので、ご了承下さい。

8. 問い合わせ先

産業医科大学 アイソトープ研究センター 阿部 利明

住所：〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

電話：093-691-7410 FAX: 093-602-6707

e-mail: t-abeto@med.uoeh-u.ac.jp

9. その他

本研究参加による直接的な利益はありません。

本研究で利用する個人の被ばく線量の情報は、法令の規定により得られたものであるため、謝礼等はありません。